

## 《どうでもいい話、その 622》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

地元の小学校と中学校へ登校日に週一日ずつ2日、小学校は朝一時間目から給食を児童と一緒に食べて5時間目まで、中学校は午前中の4時間目まで、特別支援学級の支援ボランティアに行ってます。

特別支援学級のクラスは、小学校はなかよし学級、中学校はすぎのこ学級といい、専用の教室で授業を行います。児童・生徒たちは授業を時間どおりに行くと飽きてしまいます。そのようなとき先生は

「岩波さん、遊んでやってください」と言うので、教室または屋外で遊びます。勉強の時はやる気がなくダラーとしていますが、遊びとなると張り切ります。教室にはゲーム類がたくさん用意されており、ゲームをする時はみんな真剣勝負の顔で「うーん、そうきたか、よしこれなら、さあどうだ！」と、ただ形勢が悪くなると「真剣にやっていないからな！」そして負けると「わざと負けるんだからね！」とふてくされます。したがって、そのような時は特別支援で私もわざと負けてやります。

岩波より